

# イカロスモバイルマネジメント

初期設定手順 (iOSデバイス追加) の操作説明

Ver1.0

本手順書ではイカロスモバイルマネジメント（以下IMM）のiOSデバイス追加機能について操作の説明を行います。

本機能は主に新規にiOSデバイスを追加する際に使用する機能です。

## 注意事項

- 本手順書に記載の内容はシステムのアップデートにより予告なく変更となる可能性があります。
- 本手順書で利用している画面は本手順書作成時点のものとなります。
- 本手順書で表示している各画面は、利用者様の環境によって異なって表示される場合がございます。
- 本手順書に記載されている会社名、システム名、製品名は一般に各社の登録商標または商標です。

## 改定履歴

版数	更新日	更新内容	更新者
1.0	2020/10/01	新規作成	エレコム株式会社

## 事前準備 : Apple Push 証明書の作成と登録

### **iOSデバイスをIMMへ登録するには、APNs証明書の登録が必要です (APNs・・・Apple Push Notification service)**

APNs証明書をIMMに登録しないとiOS、デバイスの登録及び制御ができません。  
IMMでiOSデバイスご利用の場合は、必須となりますので事前にご取得ください。  
また期限が切れた状態となると、既に登録済みデバイスの制御も出来なくなりますので、必ず期限切れまでに更新を行ってください。

#### [取得方法 (概要)]

- IMM上の設定画面からCSRをダウンロード
- AppleIDを取得※
- Appleのサイトにアクセス <https://identity.apple.com/pushcert/>
- 画面に従い、CSRを登録し、APNs証明書を取得
- その後、IMM上へAPNs証明書を登録

※上記の作業にはAppleIDが必要になります。

APNs更新の際には同じアカウントである必要があるため、企業用のアカウント等をご準備ください。

詳細は手順書「(必須) APNs証明書の作成・更新方法」を御覧ください。

# 初期設定手順 (iOSデバイス追加)

## 手順 1 : IMMへログイン後、「ユーザーとデバイス」画面へ移動

IMMへログイン後、「組織」メニュー内の「ユーザーとデバイス」をクリックしてください。

The screenshot displays the IKARUS security software interface. The top header includes the IKARUS logo, a language dropdown set to '日本語', and a user profile icon labeled 'global'. The left sidebar menu is expanded, with 'ユーザーとデバイス' (Users and Devices) highlighted in a yellow box. The main content area shows the 'ユーザーとデバイス' page with a search bar containing 'ユーザーを検索する' and a '検索する' button. Below the search bar, there are icons for '折り畳む' (Collapse) and '拡大する' (Expand). A table lists user entries with checkboxes and edit icons:

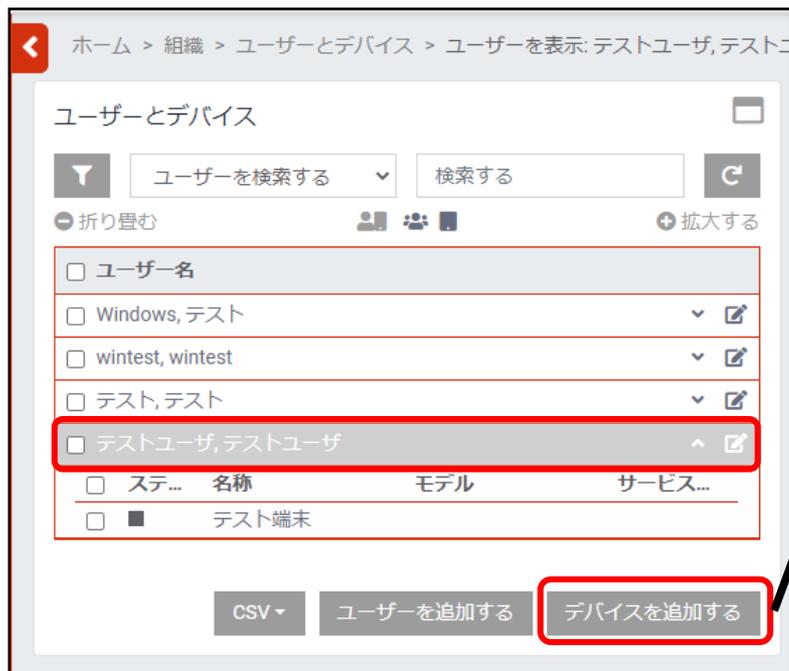
<input type="checkbox"/> ユーザー名	
<input type="checkbox"/> Windows, テスト	▼ ✎
<input type="checkbox"/> wintest, wintest	▼ ✎
<input type="checkbox"/> テスト, テスト	▼ ✎
<input type="checkbox"/> テストユーザ, テストユーザ	▼ ✎

At the bottom right of the main content area, there are buttons for 'CSV' and 'ユーザーを追加する' (Add User).

# 初期設定手順 (iOSデバイス追加)

## 手順 2 : 「ユーザーとデバイス」画面から「新しいデバイスデータ」画面へ遷移

「ユーザーとデバイス」欄でユーザを選択後、「デバイスを追加する」ボタンを押すと、画面右側に「デバイスを追加する」画面が表示されます。



# 初期設定手順 (iOSデバイス追加)

## 手順 3 : 登録するiOSデバイスの情報を入力

プラットフォームをiOSに選択した後、  
項目説明を確認しながら入力を進めてください。

デバイスを追加する

プラットフォームを選択する

Android **iOS** macOS Windows 不明

所有権  
定義されていない

MDM ID

デバイス名

電話番号

登録用電子メール

コメント

シリアルナンバー

SMSで登録する 電子メールで登録する QRコードでアクティベートする

△電話番号頭の0は取り除いて国際番号を付与してください  
例：090-XXXX-XXXXの場合 +8190XXXXXXXXと入力

### 所有権

個人利用のデバイスか、会社用デバイスかを登録できます。  
Android Enterpriseを利用する場合は「**企業**」を選択してください。

### MDMID

入力不要です。(自動採番されます)

### デバイス名 [必須項目]

デバイスを識別する名前(例:機種名)などを入力してください。

### 電話番号

日本を表す+81を付加し、ハイフン無しで入力してください。

**△本ページ左下黄色網掛けの注意を必ずご確認ください**

### 登録用電子メール

メールで認証登録する場合のメールアドレスです。

ユーザーのアドレスが初期値でセットされます。

### コメント

デバイスを検索する場合に検索対象になります。

### シリアルナンバー

Apple DEPで登録する場合に、先にシリアルナンバーを設定しておけば、デバイス自動登録時にユーザーに紐づきます。

## 手順4 : デバイスへの認証用メッセージ送信

デバイスの情報を入力した後、デバイス側へのクライアント導入準備を行います。  
下記の3パターンでデバイスの登録が可能です。



### ①「SMSで登録」ボタンを押した場合 (SMSが受信できるSIMが必要です)

設定した内容が保存された後、電話番号宛へアクティベート用のURLが送信されます。

### ②「電子メールで登録」ボタンを押した場合 (Wi-Fi専用機でも可能)

設定した内容が保存された後、設定したメールアドレス宛へアクティベート用のURLが送信されます。

### ③「QRコードでアクティベートする」ボタンを押した場合

認証用QRコードが表示されます。

任意のQRリーダーで読み取ることで、アクティベート用ファイルのダウンロードサイトへ遷移します。

## 手順5 : ①「SMSで登録」ボタンを押した場合

デバイス側でSMSを受信した後は手順書「iOSデバイスの導入（通常）」をご確認の上、デバイスへのクライアントインストール及び認証を行ってください。

SMSが届かない場合には電話番号が誤っていないかどうか再度ご確認の上、IMMの画面からSMSの再送をお試してください。

**※電話番号登録の際には、頭に「+81」の付加及び頭の「0」削除に特にご注意ください。**

## 手順5 : ②「電子メールで登録」ボタンを押した場合

デバイス側でメールを受信した後は手順書「iOSデバイスの導入（通常）」をご確認の上、デバイスへのクライアントインストール及び認証を行ってください。

その他、認証がうまくいかない、出来ない場合には本手順書末尾の「[参考]認証がうまく出来ない場合のチェックポイント」をご確認ください。

認証の成否確認は、本手順書の「[参考]認証が成功した場合」をご覧ください。

## 手順6：位置情報をONにする (GPSでデバイスの位置を取得する場合)

デバイスごとに位置情報をON (定期的にデバイスの位置を記録) にするかを設定できます。

**個人情報保護のため自動的に有効にはなりません。ただし、スケジュール設定で一括でオンが可能です。**

1. ユーザーとデバイスのメニューから、位置情報ONにするデバイスを選んでください。
2. インベントリの項目を選択 (初期表示) の「時間およびロケーションのデータ」の「GPS」項目をオンにします。

The screenshot shows the 'ユーザーとデバイス' (Users and Devices) management interface. On the left, a list of devices is shown, with 'テスト端末' (Test Device) selected and highlighted with a red box. On the right, the 'デバイスを表示' (Show Device) view for 'テスト端末' is displayed. The 'インベントリ' (Inventory) tab is selected and highlighted with a red box. Below it, the '時間およびロケーションのデータ' (Time and Location Data) section is visible, with the 'GPS' setting highlighted by a red box and set to 'オン' (On). A red box also highlights the 'オン' dropdown and the '[0 記録]' button.

ホーム > 組織 > ユーザーとデバイス > ユーザー: テストユーザ, テストユーザ > デバイス: テスト端末 > インベントリ

ユーザーとデバイス

ユーザーを検索する 検索する

折り畳む 拡大する

ユーザー名	モデル	サービス状況
Windows, テスト		
wintest, wintest		
テスト, テスト		
テストユーザ, テストユーザ		
ステ... 名称	モデル	サービス状況
テスト端末		

CSV ユーザーを追加する デバイスを追加する

デバイスを表示

テスト端末

インベントリ 詳細 アクション 履歴 インストール

SIMカード

時間およびロケーションのデータ

登録日	2019/10/09 08:53
MDMが開始されました	
最終接続	
次の接続	
現在の時刻	
タイムゾーン	
言語	
検証済みのMSISDN	
GPS	オン [0 記録]

## 手順 6 - 2 : 位置情報のアプリインストールと設定

- 1.) デバイスのiOS設定で最後までスクロールし、位置情報アプリを選択して、「位置情報へのアクセスを許可」を常に設定します
- 2.) 次に、位置情報アプリ自体で「今すぐ送信」ボタンを1回押します。その後、GPSデータが自動的にシステムに転送されます！

## [参考] 認証が成功した場合

ユーザーとデバイスの一覧画面にて、デバイス名の前に緑の■が表示されていれば正常にIMMの管理画面とデバイスとの紐付けが完了しています。

ステ...	名称	モデル	サービス状況
<input type="checkbox"/>	テスト端末	S0-02J	
<input type="checkbox"/>	テストユーザ, テストユーザ		

SMS/電子メール送信後、認証が完了していない場合は下記のように黄色い三角が表示されます。

### [ステータス欄の凡例]

-  IMMの管理コンソール上で情報登録のみされた状態。(未認証)
-  SMS/メール送信後、認証が完了していない状態 (未認証)
-  未認証もしくは認証後に未接続期間が一定期間を経過した状態

# 初期設定手順 (iOSデバイス追加)

## 手順 7 : IMMクライアントをインストールする

「組織」→「ユーザとデバイス」→対象の端末を選択→「アクションタブ」→「IKARUSmmをインストールする」ボタンをクリックしてください。

自動的にiOSデバイス側でクライアントのインストールが始まり、完了するとアクションを実行出来るようになります。

The screenshot displays the IKARUS security software interface. On the left, a navigation menu includes 'ダッシュボード', '組織', 'ユーザーとデバイス', '階層とグループ', 'ユーザーの割り当て', 'デバイスグループ', 'インフラ', '操作', 'レポート', and '設定'. The main area shows the 'ユーザーとデバイス' section with a search bar and a table of devices. The device 'iphone7' (iPhone 7 (Japan/China)) is selected and highlighted with a red box. An arrow points from this device to the 'アクション' button in the right-hand pane. Below the 'アクション' button, the 'IKARUS mmアクション' section is visible, with the 'IKARUS mmをインストールする' button highlighted by a red box. Other buttons in this section include 'インベントリのアップデート', '接続を強制実行する', 'App Store', and 'App Storageをインストール'.

## [参考] 認証がうまく出来ない場合のチェックポイント 1

- SMSがデバイスに届かない
  - 電話番号を再度お確かめください。
    - ※ 国内でご使用の場合、電話番号の頭の0を取り除き、国際番号+81の付加が必要です。
- SMSによる自動認証がうまくいかず、IMMクライアントの認証画面から進まない
  - 受信したSMSの読み取りに失敗している可能性があります。
    - 下記どちらかをお試してください。
      1. デバイス側で認証画面を立ち上げたまま、SMSを再送信
      2. QRコードによる認証
    - ※ クライアント画面の詳細などは手順書「iOSデバイスの導入方法（通常）」をご覧ください。

# 初期設定手順 (iOSデバイス追加)

## [参考] 認証がうまく出来ない場合のチェックポイント 2

・デバイス側で接続成功しているように見えるが、IMMコンソール側ではステータスが黄色アイコンの状態となり、接続を確認できない場合  
→IMMに登録したことがあるデバイスで、正規の手順を踏まずにアプリやユーザを削除した場合に、既に登録されている扱いとなってしまうことにより発生します。次の手順をご確認ください。

1. IMMコンソール画面で、Globalテナントへ変更。
2. ダッシュボードの「組織」→「デバイスプール」へ移動し、「未登録のデバイスを選択」
3. 対象のデバイスを確認し、チェックをつける（電話番号などでご判断ください）
4. ユーザ割り当てボタンをクリック
5. 割り当て先のユーザを選択してOKをクリック

The screenshot illustrates the steps for assigning a user to a device in the IMM console. The main interface shows the 'Global' tenant selected, and the '未登録のデバイス' (Unregistered Devices) section. A table lists devices with columns for name, platform, and model. The device 'D411A3E796D1' is selected. A modal window titled 'ユーザーとデバイス' (User and Device) is open, showing a list of users with 'Android検証用' (Android Verification) selected. The 'OK' button is highlighted.

名称	プラットフォーム	モデル
D411A3E796D1	Android	SC-02L

名	姓	ユーザー名
Android検証用	Android検証用	